



【実際の医療的ケアの内容】

ケアの頻度	一日5~6回	実施者	看護師 保育者 その他
医療的ケア時の場所	医務室	準備物	捕食
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の前後、昼寝の前後の血糖値チェック。</li> <li>・捕食。</li> <li>・給食、おやつ前のインスリン注入。</li> <li>・本児がつけている血糖値管理器具のアラームにより確認するが、日によって頻繁にアラームがなる事もあり、保護者との連絡をとる事もある。</li> <li>・血糖値管理は頻度が多く、看護師がかかりきりになってしまうこともある。</li> </ul>	

【特に配慮を工夫した保育活動】

活動内容	給食時の米飯計測	援助者	保育者 看護師 その他
場所	保育室	準備物	調理用はかり
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢も上がって来たので、本児が分かり易いように調理用はかりを使用し、保育士の管理のもと自分で盛るようにした。</li> </ul>	

活動内容	プール遊び	援助者	保育者 看護師 その他
場所	保育園プール	準備物	防水パッド、ジップロック
		<p>プール遊びや水遊び等の時は計測器を外し、からだに刺している針部分を防水パッドで覆う。看護師がプールサイドで計測器を持ち待機。</p> <p>活動そのものには制限が無く、本児も活発に遊べるよう援助する。</p>	

【ケア会議（園内カンファレンス等）の実施と職員間の共有】

ケア会議参加者	保護者、担任保育士、園長、主任保育士、看護師
頻度	年1回 装着している器具が変わった時・必要に応じて
共有の仕方	職員会議等で書面配布し説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本児に通常関わる保育士、看護師から職員会議の中で共有する。</li> <li>・保護者からの要望や保育中の困りごとなどはその都度職員間で共有する。</li> <li>・保育活動で保護者にどうかかわってもらうか等、行事前に面談をする。</li> </ul>	